

15. 下記の医療設備、治療手技、診療行為について、現在貴診療所の医療圏を考慮して、必要性、妥当性について該当するとお考えになるところに○をつけてください。

	貴診療所に設備がありますか	現在、貴診療所に対応できますか。	理想的にはどう対応すべきと思われますか。 (現在の状況に関わらずお答えください)
	ア) ある イ) ない	ア) 診療所で診療可能である。 イ) 医療圏内で対応が可能である。 ウ) 医療圏内では対応が不可能である。	ア) 常時対応すべきである。 イ) 臨時的な対応で十分である。 ウ) 対応する必要がない。 ア) イ) の場合、現状で対応が不可能な理由を聞かせてください。 ①人的資源、②資金、③その他○
院内血液検査	ア) イ)	ア) イ) ウ)	ア) イ) ウ) ①人的資源、②資金、③その他○
心電図	ア) イ)	ア) イ) ウ)	ア) イ) ウ) ①人的資源、②資金、③その他○
単純X線撮影	ア) イ)	ア) イ) ウ)	ア) イ) ウ) ①人的資源、②資金、③その他○
X線テレビ	ア) イ)	ア) イ) ウ)	ア) イ) ウ) ①人的資源、②資金、③その他○
腹部超音波断層	ア) イ)	ア) イ) ウ)	ア) イ) ウ) ①人的資源、②資金、③その他○
心臓超音波断層	ア) イ)	ア) イ) ウ)	ア) イ) ウ) ①人的資源、②資金、③その他○
CT	ア) イ)	ア) イ) ウ)	ア) イ) ウ) ①人的資源、②資金、③その他○
MRI	ア) イ)	ア) イ) ウ)	ア) イ) ウ) ①人的資源、②資金、③その他○
上部消化管内視鏡	ア) イ)	ア) イ) ウ)	ア) イ) ウ) ①人的資源、②資金、③その他○
内視鏡下生検	ア) イ)	ア) イ) ウ)	ア) イ) ウ) ①人的資源、②資金、③その他○
下部消化管内視鏡	ア) イ)	ア) イ) ウ)	ア) イ) ウ) ①人的資源、②資金、③その他○
ポリープ摘除術	ア) イ)	ア) イ) ウ)	ア) イ) ウ) ①人的資源、②資金、③その他○
気管支内視鏡	ア) イ)	ア) イ) ウ)	ア) イ) ウ) ①人的資源、②資金、③その他○
血管造影検査	ア) イ)	ア) イ) ウ)	ア) イ) ウ) ①人的資源、②資金、③その他○
人工透析	ア) イ)	ア) イ) ウ)	ア) イ) ウ) ①人的資源、②資金、③その他○

キ) ショートステイ	①	②	③	④
ク) ナイトケア	①	②	③	④
ケ) 日常生活用具給付	①	②	③	④
コ) 痴呆性老人グループホーム	①	②	③	④
サ) ケアハウス	①	②	③	④
シ) 特別養護老人ホーム	①	②	③	④
ス) 老人保健施設	①	②	③	④
セ) 療養型病床群	①	②	③	④
ソ) 有料老人ホーム	①	②	③	④

22. 貴診療所はプライマリケア(ありふれた健康問題に対応する医療、初期救急を除く)について地域のニーズに応じていますか。

- ア) 十分満たしている
- イ) 満たしている
- ウ) あまり満たしていない
- エ) まったく満たしていない

イ)～エ) を選ばれた方にお聞きします。十分応えられない理由を教えてください。
(例：皮膚疾患を診療することができない、小児の診察に自信がない等)

23. 貴診療所は初期救急医療にどの程度対応していますか。

- ア) 十分対応できている
- イ) 対応できている
- ウ) あまり対応できていない
- エ) まったく対応できていない

イ)～エ) を選ばれた方にお聞きします。十分対応できない理由を教えてください。
(例：エックス線撮影が行えない、スタッフの能力が不十分、小児の診察に自信がない等)

26. 日常の診療所活動の中で診断や治療方針の決定に苦慮する場合、どのように対応していますか。
(複数回答可)

- ア) 文献等による事例を参考
- イ) 電話で専門医に相談
- ウ) テレビ電話で専門医に相談
- エ) ファックスで専門医に相談
- オ) パソコンのインターネット(電子メールを含む)で専門医に相談
- カ) 遠隔医療により専門医にコンサルト
- キ) 専門医に患者を紹介する
- ク) その他 ()

27. 全国のへき地医療の向上のために医療レベルの標準化が必要と思われませんが、「へき地医療全国共通ガイドライン(仮称)」を作成すべきであると考えられますか。

- ア) 必要である
- イ) ある程度必要である
- ウ) あまり必要ではない
- エ) まったく必要でない

そのように考えられる理由をお聞かせください

28. 「へき地医療全国共通ガイドライン(仮称)」を作成した場合、中核病院への患者の搬送基準が明確となり、へき地での診療の責任が明確になると考えられますか。

- ア) なる
- イ) かなりなる
- ウ) ならない

そのように考えられる理由をお聞かせください

29. 平成16年度から行われた医師の臨床研修の必修化により、へき地医療に対してどのような効果があると考えられますか。

- ア) へき地医療を志望する医師の増加
- イ) へき地医療に従事する専門医の数の増加(巡回診療を含む)
- ウ) 後方病院との連携の円滑化
- エ) 行政の支援・協力の向上
- オ) その他 ()

カ) へき地医療に対する効果はない

30. 研修・研究についておたずねします。計画的に研修、研究日を設け実施していますか。

- ア) 実施している
- イ) 実施していない

31. 学会・研修会等による短期の出張の場合どのように対処されていますか。

- ア) 休診にする
- イ) 代診医を要請し、確保している
- ウ) 代診医を要請するが、確保できない
- エ) 診療日の変更など臨機応変に対処している
- オ) その他 ()

32. へき地での診療で困った事例などがあれば紹介してください。

診療面

【3つを選んで○をつけ、3つのうちもっとも重要と思われるものに◎をつけてください。】

- ア) 常に居なくてはいけないという心理的圧力
- イ) 医療技術の研修ができない
- ウ) 診療機器があれば転送する必要がなかった
- エ) 患者を紹介しても返事がなかった
- オ) 専門的な診療相談に応じられなかった
- カ) 患者を受け入れてもらえなかった
- キ) 自治体の理解が乏しい
- ク) 後任がいらない
- ケ) 学位の研究が出来ない
- コ) スタッフとの人間関係
- サ) 学会へ参加できない
- シ) 行政と良好な関係を築けない
- ス) 首長と良好な信頼関係が築けない
- セ) その他 ()

生活面

【3つを選んで○をつけ、3つのうちもっとも重要と思われるものに◎をつけてください。】

- ソ) 交通が不便である
- タ) 日常生活が不便である
- チ) 文化施設がない
- ツ) 気象条件がきびしい
- テ) 自由な時間が持てない
- ト) 十分なこどもの教育ができない
- ナ) 単身赴任を余儀なくされた
- ニ) 冠婚葬祭に出席できなかった
- ヌ) 家族や自分の病気が心配
- ネ) 親戚や友人と疎遠となった
- ノ) 深夜まで開いている商店がない
- ハ) 親のことが心配
- ヒ) 保育環境が不備
- フ) 地域の生活に馴染めない
- ヘ) 物価が高い
- ト) 地域に魅力がない
- ナ) 充実した余暇を過ごせない

- ニ) 家族が仕事をする事ができない
- ヌ) 住民に活気がない
- ネ) 文化的に違和感がある
- ノ) 住民からよそ者扱いされる
- ハ) 方言が理解できない
- ヒ) その他 ()

33. インターネットが接続可能なパソコン等を有していますか。
- ア) 保有している
 - イ) 保有していない

保有している場合、接続環境はどれですか。

- a) 電話回線
- b) ISDN
- c) ADSL [] M
- d) 光ファイバー

34. 保健医療福祉関係の情報をどの様にして入手していますか(複数回答可)。

- ア) 特に入手する方法を持っていない
- イ) MR情報
- ウ) 雑誌・新聞
- エ) テレビ・ラジオ
- オ) 学会や研究会の機関紙、雑誌等
- カ) 医師会関係の雑誌(ファクスを含む)
- キ) ビデオ
- ク) パソコンによるオンライン情報(インターネット、テレビ会議等)
- ケ) CD-ROM等
- コ) 上記以外の医学関係図書
- サ) 役場、保健センター等市町村の行政機関からの通知等
- シ) 保健所、福祉事務所等都道府県の行政機関からの通知等
- ス) 官報、国立研究機関等国の行政機関からの通知等
- セ) その他 ()

35. 診療所の活動について、行政の支援・協力の体制はいかがですか。

- ア) 十分な支援・協力がある
- イ) 一応の支援・協力がある
- ウ) あまり支援・協力が無い
- エ) わからない

36. 問35で行政の支援・協力が得られない理由をお聞かせください。

- ア) 市町村長、議会や行政の理解がない
- イ) 市町村長、議会や行政の理解はあるが、市町村単独では実現が困難
- ウ) その他(具体的に)

37. 保健福祉行政に診療所医師、歯科医師としての意見が反映されていますか。

- ア) 十分反映されている
- イ) 反映されている
- ウ) あまり反映されない
- エ) 全く反映されない

オ) わからない

38. 遠隔医療についてお答えください。

- ア) 遠隔医療を利用している
- イ) 遠隔医療を利用したことはない
- ウ) 遠隔医療は特に必要ない
- エ) その他 ()

39. 38で(ア)と答えた場合、利用している遠隔医療の内容をお答えください。

- ア) 病理組織、レントゲン写真等の静止画像による診断
- イ) 血管造影等の動画による診断
- ウ) テレビ電話による診断、治療
- エ) 電子メールを利用した症例検討、症例相談
- オ) 在宅患者のモニター
- カ) テレビ会議等による学会、研究会、講演会への参加
- キ) 他院の電子カルテの閲覧、他院への紹介状
- ク) その他 ()

40. 遠隔医療を推進する上での課題についてお答えください(複数回答可)。

- ア) ハード、ソフト等の設備費が高価である
- イ) 医療機器とパソコンを接続するインターフェースが整っていない
- ウ) 通信費等の維持費が高い
- エ) 操作が困難である、面倒くさい
- オ) 通信等の処理速度が遅い
- カ) システムが現場のニーズに合っていない
- キ) 相談を受けてくれる専門の医師がいない
- ク) その他 ()

41. 今後、どのような遠隔医療のシステムを希望していますか

()

42. あなたの家族構成についてお答えください。

- ア) 独身
- イ) 家族と同居している
- ウ) 別居している家族がいる
- エ) 単身赴任

43. あなたの住居についてお答えください。

- ア) 独立した専用医師住宅
- イ) 集合住宅の中での専用医師住宅(官舎)
- ウ) 診療所近辺の借家
- エ) 診療所近辺の持ち家
- オ) 診療所地区外の自宅からの通勤
(通勤時間 分、通勤手段: 車・電車・船・その他())

44. へき地診療所での勤務を続けるために必要なことは何ですか。

【3つを選んで○をつけ、3つのうちもっとも重要と思われるものに◎をつけてください。】

- ア) 生活環境(住宅環境)の向上
- イ) 子弟の教育の充実
- ウ) 診療支援体制の強化
- エ) 医師としての研修・生涯教育の充実
- オ) 報酬の充実
- カ) 地元行政の理解と協力
- キ) 複数医師体制の確保
- ク) レジヤールの確保
- ケ) 生活必需品の確保
- コ) 安定した身分
- サ) へき地医療拠点病院群を含めたネットワークの中での人事ローテート
- シ) 最新医療機器の整備
- ス) その他 ()

45. 今後へき地医療活動に求められることは何ですか。

【3つを選んで○をつけ、3つのうちもっとも重要と思われるものに◎をつけてください。】

- ア) 後方支援病院の役割強化
- イ) へき地医療支援機構の活動の強化
- ウ) 国や県などの行政的指導力
- エ) 広域化による資源の有効利用
- オ) 総合的な診療や地域医療に関するガイドラインの確立
- カ) 都道府県の自由な裁量によるへき地医療対策
- キ) 地域医療に関わる人材の育成、確保と教育の改善
- ク) その他 ()

46. 無医地区に対して必要と思われることをお答えください(複数回答可)。

- ア) 診療所からの患者送迎車(船)の運行
- イ) 診療所からの出張診療
- ウ) 病院からのへき地巡回診療
- エ) その他 ()

47. 無歯科医地区に対して必要と思われることをお答えください(複数回答可)。

- ア) 診療所からの患者送迎車(船)の運行
- イ) 診療所からの出張診療
- ウ) 病院からのへき地巡回診療
- エ) その他 ()

48. あなたがへき地診療所に勤めている理由についてご記入ください。

【3つを選んで○をつけ、3つのうちもっともあてはまるものに◎をつけてください。】

- ア) やりがいがあるから
- イ) 働きやすいから(住民や職員がよい)
- ウ) 自然環境がよいから
- エ) 義務年限内(自治医科大学卒業生)だから
- オ) 大学医局からの派遣
- カ) 近隣に両親、親しい人が住んでいるから
- キ) 両親の跡を継いで
- ク) 報酬が良いから
- ケ) 後任がないから
- コ) その他 ()

49. 現在、勤務されている施設での勤務についてお聞かせください。

- ア) できるだけ長く勤務したい
- イ) 任期が終了するまで
- ウ) 後任が見つかるまで
- エ) 早く退職したい
- オ) 退任後、一定期間が経過したら再び赴任したい
- カ) その他 ()

50. 実際、現在勤務されている施設での勤務期間の予定はどのくらいですか。

- ア) 1年以内
- イ) 1～3年以内
- ウ) 3～10年以内
- エ) 10年以上
- オ) その他 ()

51. 今後のへき地医療対策にご意見等がありましたら、どうぞご記入ください。

6. 巡回診療を行っている無医地区の名称と貴院から車・船等での所要時間についてご記入ください。

(名称	所要時間	分)

7. 貴院のへき地医療支援に対する方針についてご記入ください。

- ア) 事務職を含めた全ての職員が自院の立場・方針を知っている
- イ) 医師・歯科医師は全て自院の立場・方針を知っている
- ウ) へき地医療を担当する医師・歯科医師は全て自院の立場・方針を知っている
- エ) 院内で自院の立場・方針について話題にしたことはほとんどない

8. 貴院のへき地医療支援の評価等についてご記入ください。

- ア) へき地医療支援に関する経時的な統計等が把握され、問題点の抽出や解決策等の議論が記録されている
- イ) へき地医療支援に関する経時的な統計等が把握され、院内に報告されている
- ウ) 特に評価等は行っていない
- エ) その他()

9. 代診医を派遣する体制についてご記入ください。

- ア) 派遣する代診医が決まっており、適切に行われる仕組みがある
- イ) 派遣する代診医は決まっているが、ルールが明確にされていない
- ウ) 派遣する代診医が明確になっていない
- エ) 代診医の派遣は行っていない

10. 現在行われているへき地医療支援は地域の必要をどの程度満たしていますか。

- ア) 十分満たしている
- イ) 満たしている
- ウ) あまり満たしていない
- エ) まったく満たしていない

11. 今後、貴院が担うべきと考えるへき地支援は何ですか(複数回答可)。

- ア) 医師配置計画策定
- イ) 代診医派遣
- ウ) コ・メディカル スタッフの派遣
- エ) 歯科診療支援
- オ) へき地巡回診療
- カ) 研修の受け入れ
- キ) 画像転送やテレビ会議等の遠隔医療
- ク) 情報ネットワーク
- ケ) 定期的な症例検討会・研修会
- コ) 紹介患者の受け入れ調整
- サ) 総合的な臨床医の養成指導

シ) その他(

)

12. 貴院はへき地診療所からの救急患者を受け入れていますか。(救命救急センター対応患者を除く)
- ア) 全ての患者を受け入れている
 - イ) 症例によって受け入れている
 - ウ) 院内に余裕があれば(満床でない場合等)受け入れている
 - エ) 基本的に受け入れていない
13. へき地診療所勤務医師の研修を支援するための定期的な代診派遣をどのように行なっていますか。
- ア) 病院全体の医師で対応している
 - イ) 特定の医師が対応している
 - ウ) 他の医療機関が対応している
 - エ) ニードはあるが医師が確保できない
 - オ) ニードがない
 - カ) 当院の役割ではない
14. 医師が確保できないへき地診療所への医師派遣を行っていますか。
- ア) 病院全体の医師で対応している
 - イ) 特定の医師が対応している
 - ウ) 他の医療機関が対応している
 - エ) ニードはあるが医師が確保できない
 - オ) ニードがない
 - カ) 当院の役割ではない
15. へき地診療所勤務医師自身の傷病や冠婚葬祭等の際に、臨時の代診を行っていますか。
- ア) 病院全体の医師で対応している
 - イ) 特定の医師が対応している
 - ウ) 他の医療機関が対応している
 - エ) ニードはあるが医師が確保できない
 - オ) ニードがない
 - カ) 当院の役割ではない
16. へき地診療所勤務医師の冠婚葬祭及び研修等で代診派遣を行う体制は下記のどれですか。
- ア) 代診派遣を検討する病院全体を代表する特別な委員会がある
 - イ) 病院全体を代表するものではないが、関係者で協議する体制がある
 - ウ) 担当者が適宜対処している
 - エ) その他(
-)
17. へき地診療所医師の冠婚葬祭及び研修等で代診派遣の実績は下記のどれですか。
- ア) 必ず要望に応えている
 - イ) 要望に応えられないことがある
 - ウ) 要望に応えられないことが多い
 - エ) ほとんど要望に応えられない

18. 各科の専門医を地域のへき地診療所に派遣していますか。
- ア) 病院全体の医師で対応している
 - イ) 特定の医師が対応している
 - ウ) 他の医療機関が対応している
 - エ) ニードはあるが医師が確保できない
 - オ) ニードがない
 - カ) 当院の役割ではない
19. 技師、看護師など医師以外のスタッフを地域のへき地診療所に派遣していますか。
- ア) 病院全体の医師で対応している
 - イ) 特定の医師が対応している
 - ウ) 他の医療機関が対応している
 - エ) ニードはあるが医師が確保できない
 - オ) ニードがない
 - カ) 当院の役割ではない
20. 現在、地域のへき地診療所との診療に係る情報交換に主に用いられている通信手段は何ですか。
(複数回答可)
- ア) 電話
 - イ) F A X
 - ウ) 電子メール
 - エ) 画像伝送
 - オ) テレビ会議
 - カ) その他()
21. 今後、地域のへき地診療所との診療に係る情報交換のために必要な通信手段は何ですか。
(複数回答可)
- ア) 電話
 - イ) F A X
 - ウ) 電子メール
 - エ) 画像伝送
 - オ) テレビ会議
 - カ) その他()
22. 遠隔医療などを利用した地域医療支援情報ネットワークについてお答えください。
- ア) 現在実施しており有効に利用されている
 - イ) 実施しているが余り利用されていない
 - ウ) 今後実施を検討している
 - エ) 実施予定はない
23. 地域の医療機関からの相談や患者紹介、受診検査予約、診療情報提供等についてインターネットを利用してありますか。
- ア) 現在実施しており有効に利用されている
 - イ) 実施しているが余り利用されていない
 - ウ) 今後実施を検討している

ク) その他()

33. へき地医療支援機構(以下、機構)が設置されましたが、貴都道府県における機構がどこに設置されているかご存知ですか。

ア) 知っている イ) 知らない

34. 機構の機能として代診医の派遣や研修会の開催などがありますが、利用したことがありますか。

ア) 代診医師の派遣を受けたことがある
イ) 研修会に参加したことがある
ウ) その他の機能を利用した()
エ) 利用したことはない

35. 機構から貴院に何か情報が送られてきたことがありますか。

ア) ある イ) ない

36. 貴院の運営にとって機構の機能は満足のものですか。

ア) はい イ) いいえ

37. 機構が円滑に活動するための障害にはどのようなものがあると思われますか。

38. 貴院の診療科は下記のどれですか(複数回答可)。

ア) 内科 イ) 外科 ウ) 小児科 エ) 産婦人科 オ) 眼科
カ) 耳鼻いんこう科 キ) 脳神経外科 ク) 胸部外科 ケ) 整形外科
コ) 皮膚科 サ) 麻酔科 シ) 精神科 ス) 歯科
セ) その他()

39. 問 38 で(ス) 歯科と回答された医療機関にお聞きします。へき地における歯科保健支援として、必要と思われることをご記入お願いいたします。

40. 貴院の特徴について、下記にあてはまるものについて○をつけてください(複数回答)。

ア) 特定機能病院
イ) 救急告示病院
ウ) 救命救急センター
エ) がん拠点病院
オ) 難病拠点病院
カ) エイズ拠点病院
キ) 病院機能評価機構認定病院
ク) その他()